

# ブログ

## 「ブログ」とは

「ブログ」とは、元々、Web ページを閲覧している際に、注目すべき Web ページの URL をリストアップして、そこにコメントや論評などを書き加えて記録（ログ）にしたもので、「ウェブの記録（ログ）」という意味で「ウェブログ」と名付けたのが始まりである。これが略されて、「ブログ」と呼ばれるようになった。

現在では、ブログは私的なニュースや自分の動向を投稿する日記のような Web サイトの総称である。

ブログの利用者は膨大にふくれあがり、用途も個人の日記的なものから、手軽な意見表明の場として、あるいは時事問題などについて論説するものもある。主婦が毎日作るお弁当をブログに公開して好評を博している例もある。

また、企業が製品を開発する過程で開発者の苦労話を掲載したり、政治家やタレントが自らの主張やプライベートなことを公開したりしている例もある。

このように、多くの人がブログを利用するようになったのには、次のような理由が考えられる。

まず、ブログを作成したり更新したりする作業が大変簡単にできるという点である。インターネットにはブログ向けのソフトウェアやウェブ上のサービスが多数あり、自分に適した方法をダウンロードしたりレンタルしたりして使えば、簡単に情報発信が可能になる。従来の Web ページ制作では HTML や FTP の知識が必要であったが、そのような知識がなくても手軽に情報の発信・更新ができるのである。

また、携帯電話などを用いて外出先からブログに新しい記事を付け加えたり、新しい写真を掲載したりできることもブログが支持された理由の1つである。モバイル通信端末を使えば、自宅や会社になくてもその場で更新かできるので、素早く情報を公開することが可能である。

さらに、電子メディアであるブログは、紙の日記と異なり、その内容が広く一般に公開され、他のサ

イトからもリンクされたり論評されたりする。電子メールなどを通じて著者と読者がコミュニケーションしたり、特定の話題について掲示板で論議したりすることも容易である。

つまり、ブログは自分の日記を核にしなが、トラックバックの機能などを用いて他の人のブログへリンクを張ったり、関連する Web ページを参照したりするネット上の共同体を形成し、個人の重要な情報発信のメディアとなっている。

## 「ブログ」の問題点

ブログを使えば、誰もが手軽に情報発信を行うことができる。これは大変すばらしいことであるが、その反面、情報発信に責任を持たない者が社会のルールやマナーを逸脱して情報発信を行う場合が考えられる。

例えば、間違った情報を平気で載せていたり、嫌がらせや誹謗中傷、偏った思想、差別、偏見などに満ちたブログを公開していたりすることもよくある。

多くのブログは日記形式であるため、個人的な日記に書くような気軽な感覚で公開の場では発言しないような内容の書き込みを行ったり、企業の内部情報や機密情報なども暴露してしまったりする場合もある。それらが匿名掲示板に転載されて多数の者からバッシングされ（これを「炎上」という）、ブログの閉鎖のみならず、解雇や企業が取引を打ち切られるケースも発生している。

また、偽物のブログの出現という事態も見られる。著名人の名前を騙った偽ブログや、有名人と関係があるように見せかけた紛らわしい内容のブログも出現している。トラックバックやゲストブックの機能を使って不審者がアクセスしてくる危険もある。

日記の公開といえども、ブログがインターネットに公開された場合は一般の著作物と同じ扱いをされるため、発信内容の精査や著作権の保護についての配慮など、情報発信者としての最低限の義務が課せられていることを忘れてはならない。